

庁 議 録

招集年月日		令和 5 年 3 月 17 日（金）						
開会時刻		午前 9 時 30 分		閉会時刻		午前 11 時 42 分		
開催場所		401・402 多目的会議室						
出席の状況（○出席者、代は代理出席）								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	未来政策部長	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	健康福祉部長	○	9	産業部長	代
10	建設部長	○	11	建設部理事	○	12	教育部長	○
13	こども部長	○	14	議会事務局長	○	15	会計管理者	○
代理出席者		農政課長						
職務のため出席した者		伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長（代）、危機管理担当参事、健康対策担当参事、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長（代）、人事課長、秘書広報課長、デジタル変革課長、総合政策課長、財政課長、総務課長						
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項		1. 開会 2. 報告 (1) 令和 5 年 4 月 1 日付人事異動について 【総務部】 (2) 令和 5 年度伊達市行政組織について 【総務部】 (3) 令和 5 年度庁議の開催予定日について 【総務部】 (4) 通年での軽装執務（ウェルネス・ビズ）の本格実施について 【総務部】 (5) デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）交付対象事業の決定について 【総務部】 (6) 伊達市オンライン申請サービスポータル の開設について 【総務部】 (7) 令和 4 年度イオンモール開業関係業務に係る経過報告等について 【未来政策部】 (8) 第 3 次伊達市男女共同参画プランについて 【未来政策部】 (9) 伊達市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の						

	導入検討について 【未来政策部】 (10) 令和４年福島県沖を震源とする地震に係る被災者支援の状況について 【市民生活部】 (11) 臨時窓口の開設について 【市民生活部】 (12) 令和４年度マイナンバーカード申請受付、交付等状況について 【市民生活部】 (13) 令和４年３月１６日地震により被害を受けた橋梁の現状について 【建設部】 ３．各部からの情報提供：健康福祉部・教育部 ４．その他 (1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（３月下半期） (2) その他 ５．閉会
--	---

会議の経過・結果

１．開会

２．報告

(1) 令和５年４月１日付人事異動について
総務部長が資料に基づき説明した。

(2) 令和５年度伊達市行政組織について
総務部長が資料に基づき説明した。

(3) 令和５年度庁議の開催予定日について
総務部長が資料に基づき説明した。

(4) 通年での軽装執務（ウェルネス・ビズ）の本格実施について
総務部長が資料に基づき説明した。

(5) デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）交付対象事業の決定について
総務部長が資料に基づき説明した。

(6)伊達市オンライン申請サービスポータルの開設について
総務部長が資料に基づき説明した。

(7)令和4年度イオンモール開業関係業務に係る経過報告等について
未来政策部長が資料に基づき説明した。

(8)第3次伊達市男女共同参画プランについて
未来政策部長が資料に基づき説明した。

(9)伊達市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入検討について
未来政策部長が資料に基づき説明した。

(10)令和4年福島県沖を震源とする地震に係る被災者支援の状況について
危機管理担当参事が資料に基づき説明した。

(11)臨時窓口の開設について
市民生活部長が資料に基づき説明した。

(12)令和4年度マイナンバーカード申請受付、交付等状況について
市民生活部長が資料に基づき説明した。

(13)令和4年3月16日地震により被害を受けた橋梁の現状について
建設部長が資料に基づき説明した。

3.各部からの情報提供：健康福祉部・教育部

- ・「地域包括ケアシステム」と「重層的支援体制」について
- ・伊達市の埋蔵文化財保護の概要について

4.その他

(1)特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（3月下半期）

(2)その他

- ・農政課長が道の駅伊達の郷りょうぜん5周年フェアを周知した。

【市長より】

今年度最後の庁議となる。庁議においては、各部の取り組みを情報共有したり、多くのことを皆で意思決定しながら進めることができた。

今年度退職される職員については、合併以降、東日本大震災や台風、地震などの自然災害や新型コロナウイルス感染症など苦勞の多い年月だったと思うが、皆

さんのおかげで苦難を乗り越えながらもひとつの市として対応や対策を進めて
ることができた。退職される皆さんの思いをしっかり受け止め、これからの市
政に反映できるよう職員一同頑張っていきたい。

先ほど退職される職員から「60 歳からの生きる力」という言葉があったが、素
晴らしい言葉だと思う。教育現場においては、子供たちに生きる力を持ってもら
うために取り組んでいるが、やはり子供たちが生きる力を持つためには大人が見
本にならなくてはならないと思うので、大きな目標を持って、健康には十分注意
して人生を過ごしていただきたい。

5. 閉会